



ヒノキ類 [檜・桧]

5本の樹

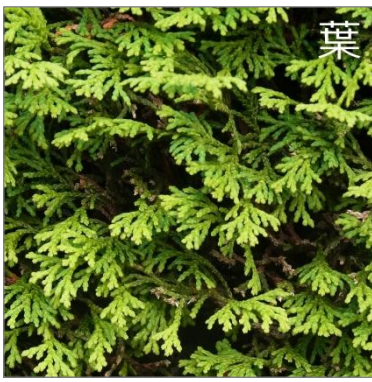
常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 ヒノキ科ヒノキ属 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

庭園樹としては、葉が密生するカマクラヒバ、チャボヒバ、オウゴンチャボヒバ、黄金色の葉が美しいクリプシーなどがあり、樹形が整いやすいため、生垣や列植に利用される。ナナグラシリス、ナナルテアは、ドワーフコニファー（矮性）のため小庭園の配植に適している。



Memo

昔、ヒノキの材をこすり合わせて火を起こしたことから「火の木」と呼ばれるようになった。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	花 期	(観賞には向かない)											
	果 実	(観賞には向かない)											
	紅 葉												
	施 肥	(不要、あるいは春先に緩効性肥料を少々)											
剪 定						■				■			

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壌	乾	○	○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						

ポイント

寒さに強く、適応範囲が広い。カマクラヒバやチャボヒバは、庭園樹として歴史が古く、日本の環境にもよく適応し育てやすいが、定着後の移植を嫌うので配置を慎重に決めるとよい。

剪定

生長が遅いため、手入れの負担は少ない。年1回剪定する場合は、生長期の6月頃または11～12月がお薦め。刈り込みもできるが葉が切断されるため、葉先を手で摘み取ると柔らかな仕上げになる。

病虫害

病虫害は少ない。



呼べる鳥 [ヤマガラ](#)・[ヒガラ](#)・[マヒワ](#)・[アトリ](#)
[カワラヒワ](#)